システムキッチン
スライディングドアストッカー 取付・設置説明書

この説明書はお客様に
必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この設置説明書では、製品を安全に正しく設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示をおこなっています。
いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った設置をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⃠ この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

シンクキャビネットに同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

⚠ 警告

取付けは、建築壁の構造を確かめて、設置説明書通り正しくおこなう。 ❗
使用中に取付ネジがゆるみキャビネットの落下、またはキャビネットの転倒により、けがをするおそれがあります。
大工工事(取付下地) キッチン取付・設置

建設工事(電気工事、管工事、大工工事、建具工事)は、関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。 ❗
守らない場合は、法令に違反します。

⚠ 注意

取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。 ❗
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

キッチンに組込まれる、電気製品・加熱機器・レンジフード・その他の機器については、それぞれの製品の設置説明書・本体の注意表示を必ずご覧いただき、正しい設置をおこなう。 ❗
正しく設置しないと、思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。
電気工事 キッチン取付・設置

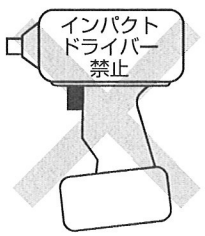
取付け・仕上げ工事に使われる、溶剤、接着剤、洗剤、その他の薬品類については、容器などに記載の注意事項に従って正しく使う。 ❗
正しく使わないと、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。
キッチン取付・設置

キャビネットを設置する際には水平・垂直のレベルを出す。 ❗
水平・垂直のレベルが出ていないと、正しく取付けることができません。
キッチン取付・設置

上下レールの取付けは、インパクトドライバーを使用しない。 ⃠

●ネジのしめすぎにより、取付強度が低下し、上下レールが外れるおそれがあります。

●取付けの際は、ネジを空転させないよう注意してください。



キッチン取付・設置

本製品のホルムアルデヒド発散区分

	表示内容				
1	商品名	システムキッチン	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
2	商品名	株式会社　LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による	7	本表示に対するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXは、キッチン取扱説明書（裏表紙）に記載。
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。			

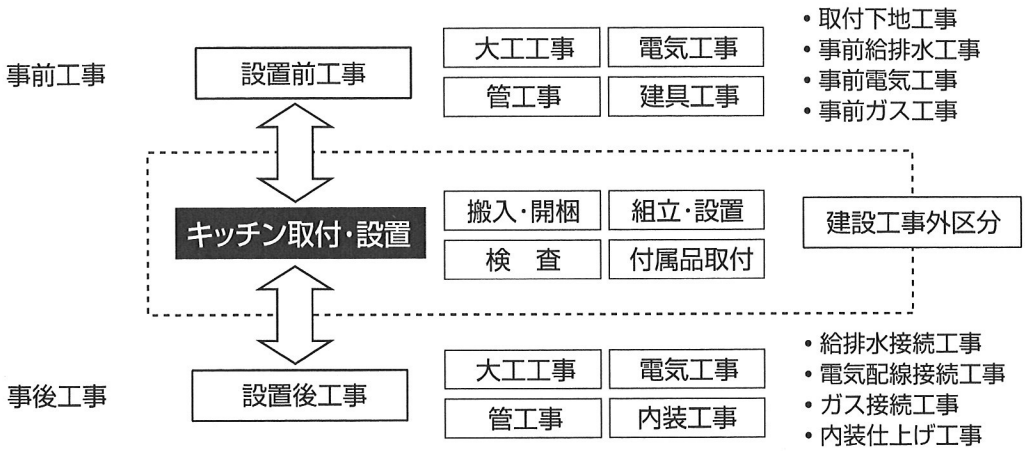
VOC放散性能	4VOC基準適合(木質建材)
表示ルール	住宅部品VOC表示ガイドラインによる

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示す。

1 作業区分

⚠警告 本説明書は、システムキッチンの本体組立・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様等）を通して本体の取付・設置を行う場合は、「建設工事」と「システムキッチン本体組立・設置」を区別しておこなってください。

■「キッチンの取付・設置」とユニット工事区分



※キッチンの取付・設置以外は、下記の資格等条件を有した者が工事をおこないます。

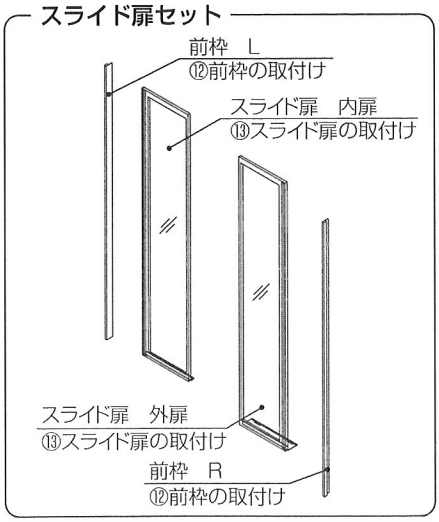
工事区分	資　格　等　条　件
電気工事	第一・二種電気工事士・電気主任技術者・建築設備士など
大工工事	一・二級建築士・建築大工「技能検定」合格者など
管 工 事	一・二級管工事施工管理技士・建築設備士・給水装置工事主任技術者など

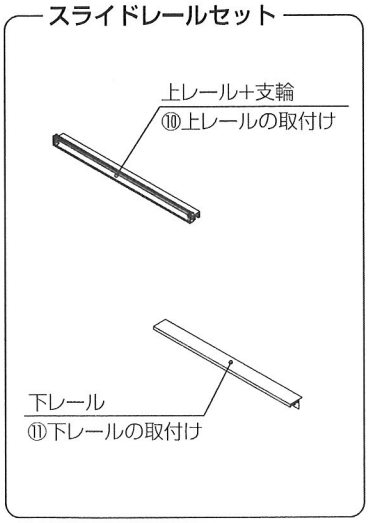
2 取付・設置前の確認

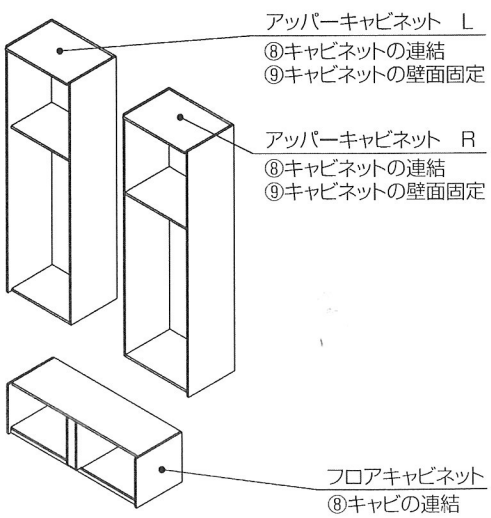
1．設置場所の水平・垂直・コーナーの直角度などのレベルが出ているか確認してください。
2．取付ける壁面の強度、桟（さん）が入っているかを確認してください。
3．注文した製品と納入された製品の確認（左右勝手など）をしてください。
4．冷蔵庫の据付け・取扱いについては、専用説明書をご覧ください。

3 各部の名称

※ここに示す番号は、本文見出しの番号を示します。

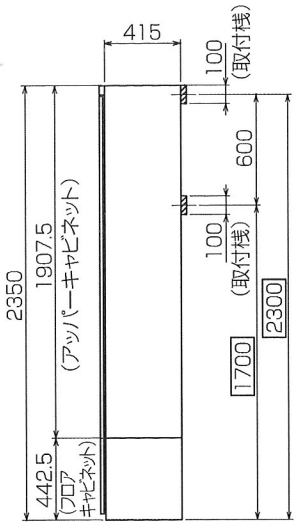




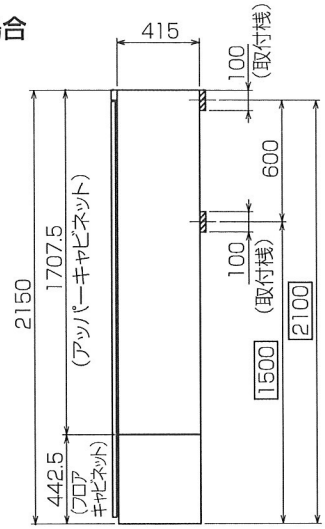


4 取付位置

●キャビネット
高さ2350㎜の場合

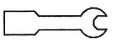


●キャビネット
高さ2150㎜の場合



5 同梱部品一覧

部品名	形状	用途
大皿フレキタッピンネジ 5.3×60(キャップ付)		アッパーキャビネット 壁面固定用
皿タッピンネジ 4.5×27(頭白塗装)		アッパーキャビネット連結用
バインドタッピンネジ 3.5×14		・上レール固定用 ・下レール固定用 (マルチストッカーのみ)
特平タッピンネジ 3.5×14		・前枠固定用 ・下レール固定用 (スライディングドアストッカーのみ)

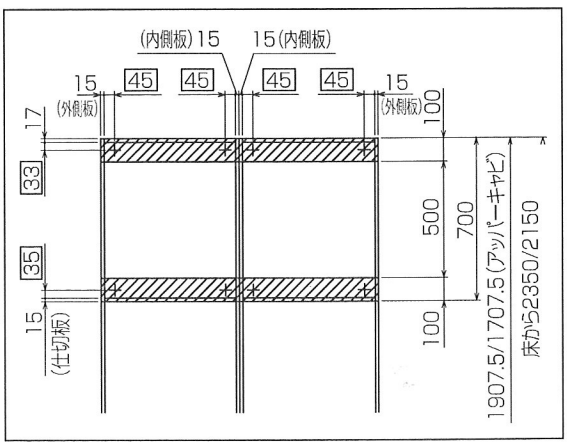
部品名	形状	用途
扉調整工具		スライド扉高さ調整用
M6×26連結ボルト (キャップ付)		アッパーキャビネット ⇔フロアキャビネット連結用

6 事前工事 大工工事

設置する壁面に、取付桟を取付けるか、埋込んでください。せっこうボードで仕上げる壁面は、せっこうボードの内側に取付桟を取付けてください。

⚠警告 **以下の事項と条件を必ず守って設置する。守らないとキャビネットが落下転倒するおそれがあります。**

取付桟の取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。



●本体重量と収納重量の荷重に対して、桟木が落ちないだけの強度をもたせる。
柱などにしっかり固定してください。
(最大300kg/1キャビネット当り)

●桟木は硬い木材(広葉樹、マツ・ツカ等の強度のある針葉樹および合板)で、虫くいや、くされのない木材を使用する。桟木は厚さ30㎜以上、幅100㎜以上が必要です。
(合板の厚さ12㎜以上あれば使用可能です)

●取付ネジは必ず、同梱しているネジを使用し、取付桟に25㎜以上かかるようにしてください。

7 取付・設置の手順

下記手順に従い間違いのないよう、十分ご注意ください。　※ここに示す手順の番号は本文見出しの番号を示します。

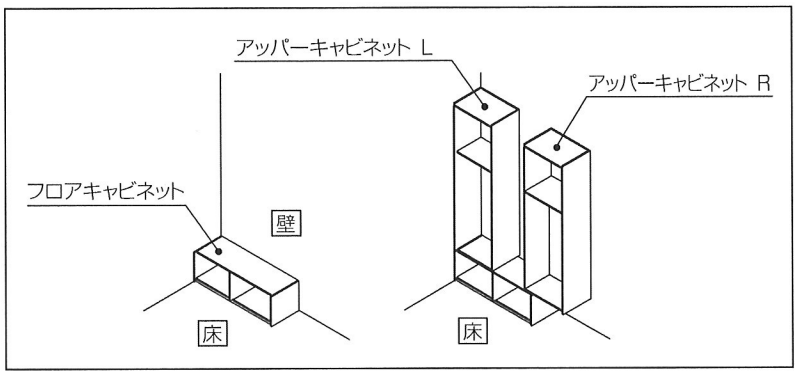
〈スライディングドアストッカー〉

8 キャビネットの連結 → 9 キャビネットの壁面固定 → 10 上レールの取付け → 11 下レールの取付け → 12 前枠の取付け → 13 スライド扉の取付け → 14 調整方法

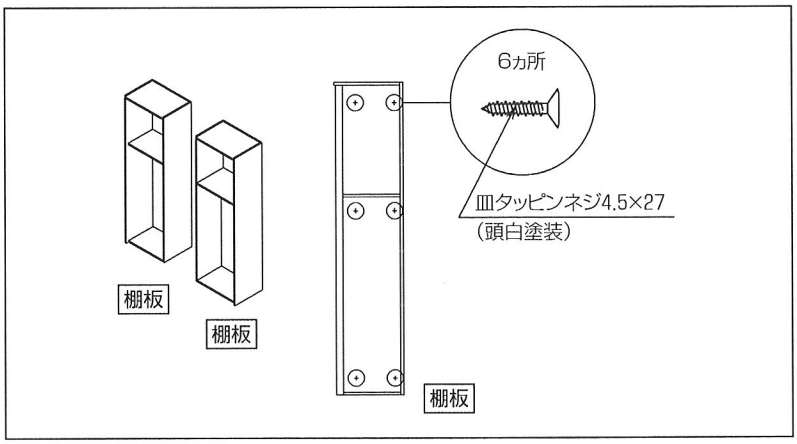
8 キャビネットの連結

1．フロアキャビネットを設置場所に置いてください。

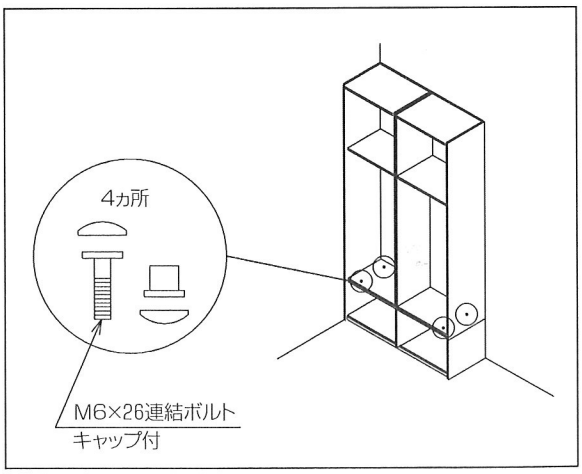
2．アッパーキャビネットをフロアキャビネットの上に置いてください。



3．左右のアッパーキャビネットを連結してください。
同梱のネジにて片側より固定してください。

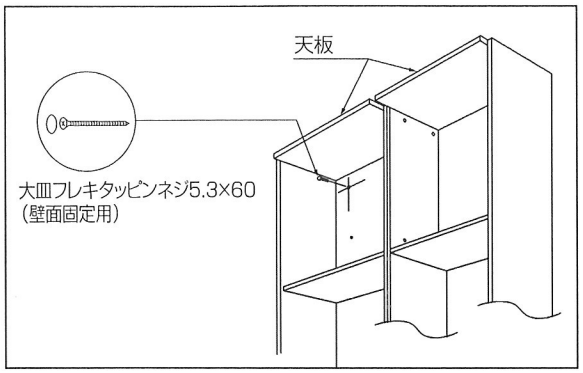


4．アッパーキャビネットとフロアキャビネットを同梱のボルトとナットで固定してください。続いてキャップを取付けてください。



9 キャビネットの壁面固定

①背板に壁面固定用の下孔（φ5）を4ヶ所開けてください。
（6．事前工事参照）
②キャビネット同梱のネジにて壁面固定してください。

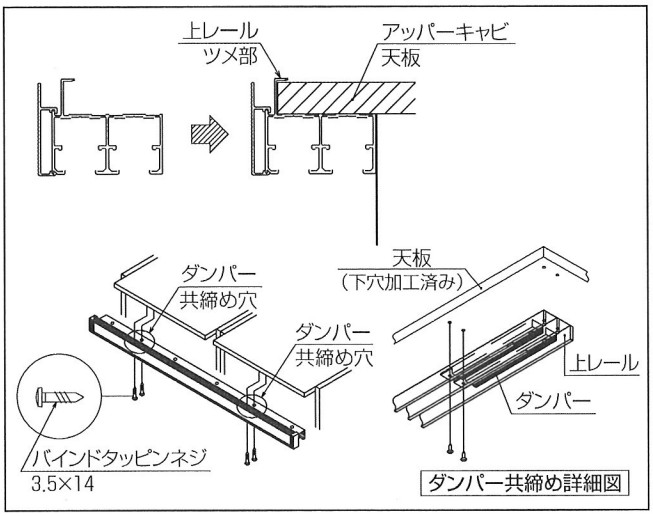


10 上レールの取付け ※インパクトドライバー禁止

①上レールのツメ部を天板に引っ掛けてください。
②初めに、上レールのダンパー共締め穴（4ヵ所）を天板の下穴に合わせて、同梱のネジで固定してください。
③続いて、残りの取付穴の同梱のネジで固定してください。
④上レール内部の木くずやホコリを取り除いてください。

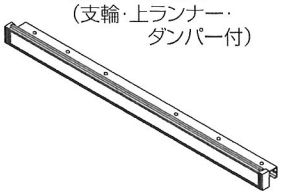
⚠注意

ダンパーを共締めで固定する。
固定しないとダンパーがずれてソフトクローズ機構を果たさないおそれがあります。

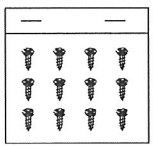


●レール部品の構成

①上レールセット
（支輪・上ランナー・
ダンパー付）



②レール取付け用ネジ



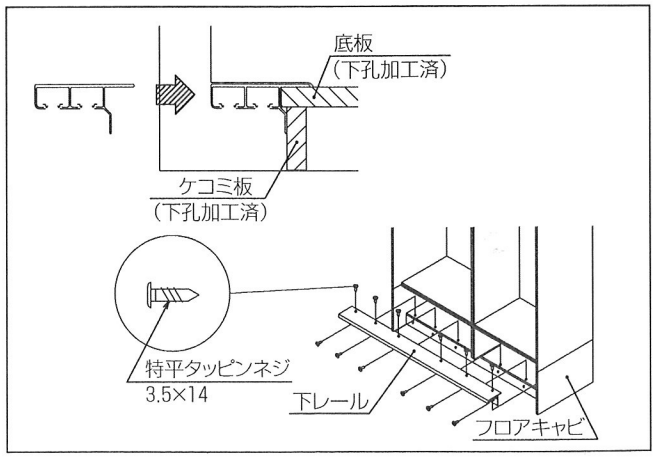
バインドタッピン3.5×14
1200：24本
（W1050 / W900）：16本

11 下レールの取付け ※インパクトドライバー禁止

①下レールのゴミやホコリを取り除いてください。
②下レールをフロアキャビネットの正面から底板に差し込んでください。
③下レール上面より同梱のネジで底板へ取付けてください。
④下レールの正面より同梱のネジでケコミ板へ取付けてください。

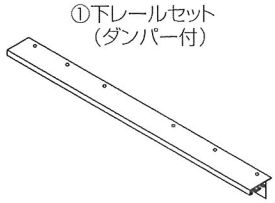
⚠注意

取付け後は下レールの上に乗らない。物をのせない。
守らないと、下レールが外るおそれがあります。

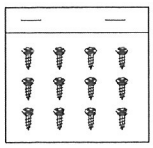


●レール部品の構成

①下レールセット
（ダンパー付）



②レール取付け用ネジ



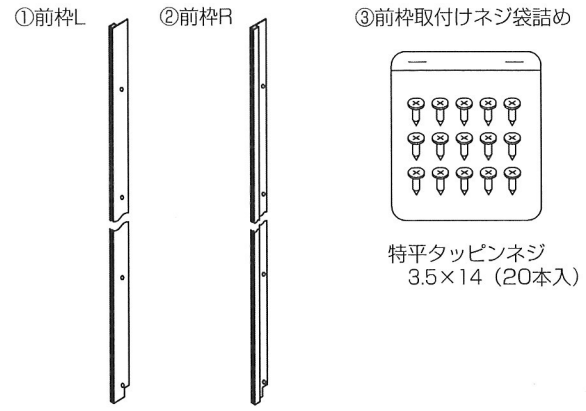
特平タッピング
3.5×14：24本

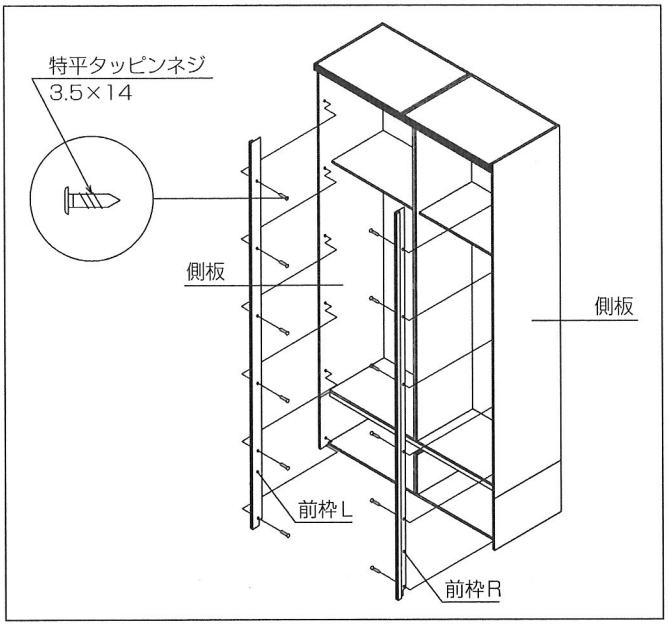
12 前枠の取付け

前枠の取付穴を側板の下穴に合わせ、同梱のネジにて固定してください。

注）前枠にはR/Lがあります。
前枠の取付穴を側板の下穴に合わせて判断してください。

●前枠部品の構成

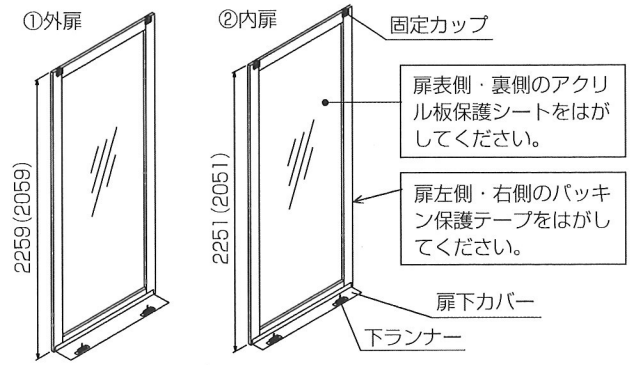




13 スライド扉の取付け

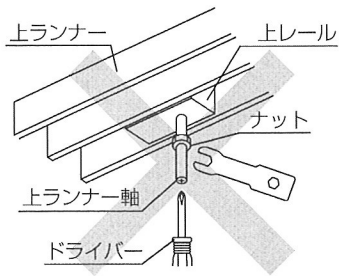
●扉部品の構成

（ ）内はキャビネット
高さ215㎝用



扉の取付け時は上ランナー軸およびナットを回さない。

ナットは上ランナー軸と接着されています。無理にナットを回すとナットが空回りし、扉の調整ができなくなるおそれがあります。



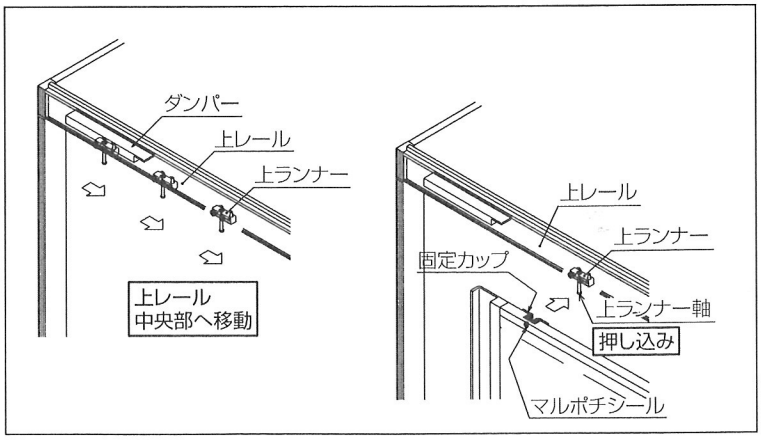
〈1．内扉の取付け〉

①上レール 奥側 のダンパーに引き込まれる上ランナー 奥側 を、上レール中央部へ移動してください

②内扉に貼付しているマルポチシールを上ランナー 奥側 の上ランナー軸に合わせ、固定カップから“カチッ”と音がするまで内扉を押し込んでください。

※この時点で内扉は 仮止め状態 となり手を離すことができます。

⚠注意 固定カップから“カチッ”と音がしたことを確認する。音がしないと固定が不完全で扉が落下するおそれがあります。



③内扉の扉下カバーに付いている下ランナーを下レール 手前側 の溝に合わせ、固定カップから“カチッ”と音がするまで内扉をまっすぐ上に持上げてください。
※この時点で内扉は 取付完了状態 となります。

⚠注意 固定カップから“カチッ”と音がしたことを確認する。
音がしないと固定が不完全で扉が落下するおそれがあります。

④内扉に貼付しているマルポチシールをゆっくりはがしてください。

〈2．外扉の取付け〉

①上レール 手前側 のダンパーに引き込まれてる上ランナー 手前側 を、上レール中央部へ移動してください。
②外扉に貼付しているマルポチシールを上ランナー 手前側 の上ランナー軸に合わせ、固定カップから“カチッ”と音がするまで外扉を押し込んでください。
※この時点では 仮止め状態 となり手を離すことができます。

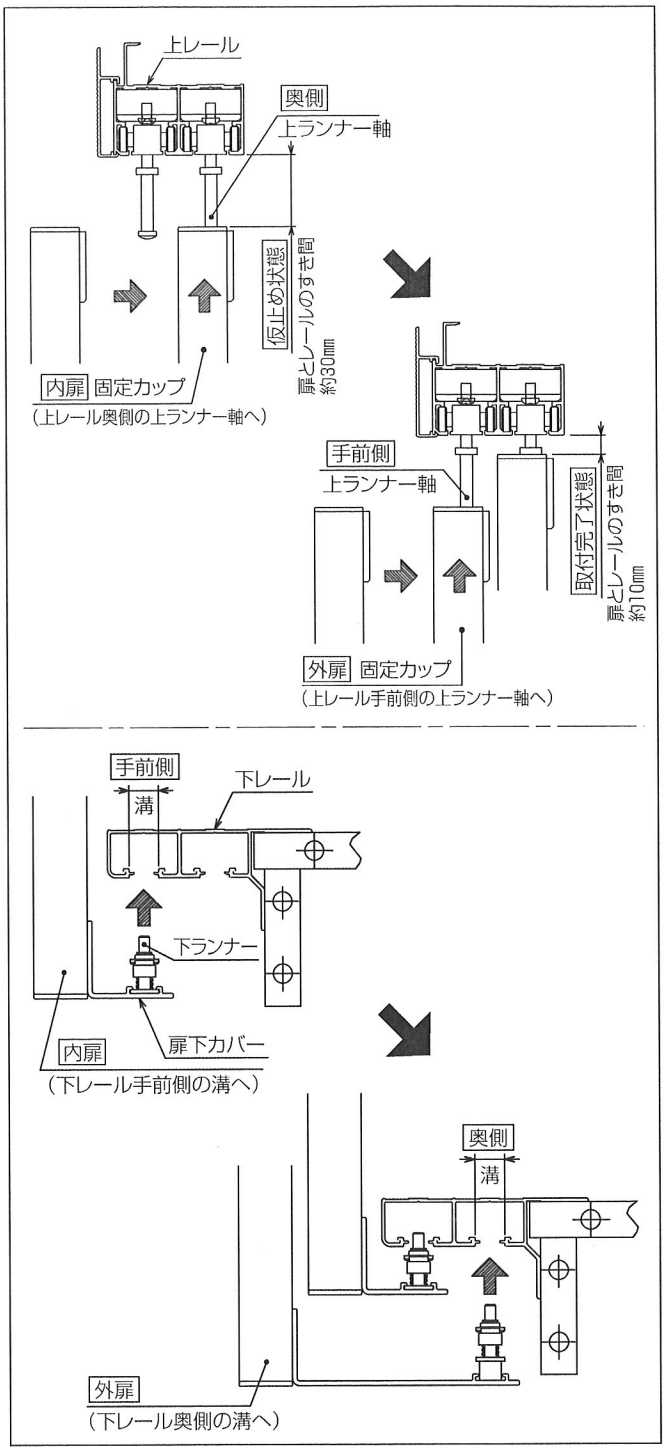
⚠注意 固定カップから“カチッ”と音がしたことを確認する。
音がしないと固定が不完全で扉が落下するおそれがあります。

③外扉の扉下カバーに付いている下ランナーを下レール 奥側 の溝に合わせ、固定カップから“カチッ”と音がするまで外扉をまっすぐ上に持ち上げてください。
※この時点で外扉は 取付完了状態 となります。

⚠注意 固定カップから“カチッ”と音がしたことを確認する。
音がしないと固定が不完全で扉が落下するおそれがあります。

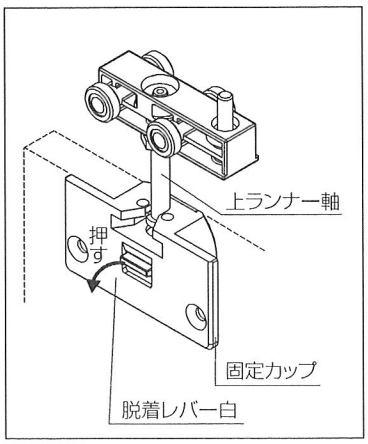
⚠注意 外扉を下レール手前側の溝にはめないでください。
扉がロックし外せなくなるおそれがあります。

④外扉に貼付しているマルポチシールをゆっくりはがしてください。



〈扉を外す場合〉

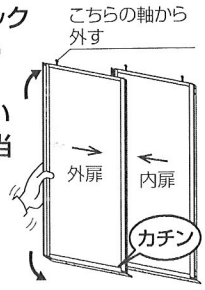
①外扉の固定カップの着脱レバー白を下に押し、軸のロックを外します。このとき手で扉を支え、扉がいっきに仮止め状態の位置まで落ちないようにします。
②ロックを外した側を少し持ち上げ扉の水平を保ちながら（持ち上げすぎると軸が再びロックされてしまいます。下げすぎると扉下カバーが内扉と干渉します）外扉と内扉をゆっくり交差させます。
③交差させたら反対側のカップの軸のロックを外します。
④扉を両手でしっかり持ち、手前に引いて上ランナー軸を固定カップから外してください。
⑤内扉も同様に外してください。



⚠警告

持ち上げすぎない
軸が再びロック
されてしまう

下げすぎない
扉の下側が当
たってしまう

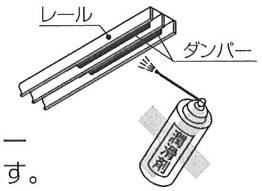


14 調整方法

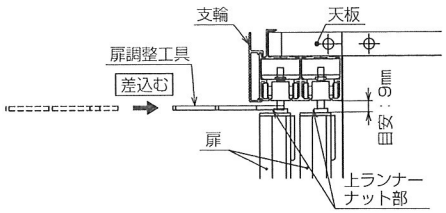
①付属の扉調整工具で、上ランナーナット部を回し、高さ調整を行ってください。
扉と上レールのすき間の目安は9.0㎜です。この時、扉がスムーズに開閉するか確認しながら上下調整してください。
②扉を強めに閉めいったんブレーキがかかった状態から最後ゆっくり閉まりきるか確認してください。

〈ブレーキがかからない場合〉
ダンパーがエラーを起こしている可能性があります。右記方法にて対処を行ってください。

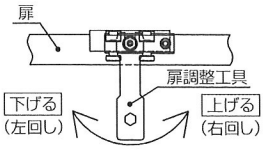
⚠注意
ダンパーには潤滑剤等を塗布しない。
ブレーキ力が弱まり、クローザー機能が働かなくなります。



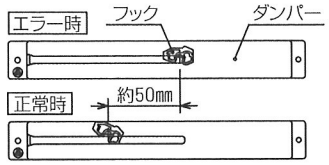
側面図
（扉を横から見た図）



平面図
（扉を上から見た図）

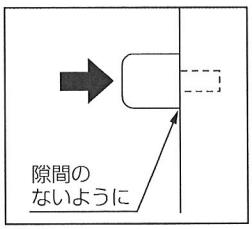


■ダンパーエラー時の対処方法
フックに細い棒等を差込んで引張り、正常位置に戻してください。その後、扉を最後まで閉め切り、動作確認を行ってください。



15 付属部品の取付け

■棚板のセット
棚受けは隙間のないように奥まで差込み、棚板を確実に乗せてください。



16 取付・設置担当者へお願い

1．清掃と養生

●取付・設置後のキャビネットや扉のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。家具用のワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、扉やキャビネットの表面を傷めます。
●取付後、内装工事などの後工事がある場合は養生を行ってください。
- 養生につかう段ボールは梱包材を使用してください。
- 養生につかうテープは粘着力の弱いものを使用してください。

2．取付・設置後のチェック

●キャビネットが確実に固定されているか確認してください。
完了報告書に従って確認してください。

⚠注意 **扉の傾き、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認する。**

使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

3．後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。

4．廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

株式会社 LIXIL
http://www.lixil.cp.jp/

6997509 B1トリツケセッチスライディング 11.03 KAP